

# 下水道マンホール蓋を活用した有料広告事業の取組（埼玉県所沢市）

## 取組概要

- 新たな自主財源の確保として、**民間事業者等の宣伝広告を有料で掲載**することにより、**新たな収益を生み出し**、その収益は下水道施設の整備や維持管理費用を賄い、**さらなる経営基盤の強化を推進**。
- 下水道事業のイメージアップとして、色鮮やかにデザインされたマンホール蓋は多くの注目を浴び、**「新たな観光名所」を生み出し**、下水道をより身近に感じる**「魅せる化」を推進**。

## 取組の効果

- **1か所当たりの収益は、年9万円**。契約期間を3年間としていることから総額27万円の収益が見込まれる。令和2年4月の契約件数は29か所となり、**令和2年度に見込まれる収益は261万円（税抜）**。現在も民間事業者からの掲載申し込みが絶えない状況である。
- 北海道等の遠方から広告掲載のマンホール蓋を目当てに訪れ、**新たな観光名所となった**。
- 本事業を参考として、他事業者においてもマンホール蓋を活用した有料広告事業を開始。この広がりにより、**全国の下水道事業の経営の健全化とイメージアップの推進に寄与**している。

## 創意・工夫した点

個別訪問による営業活動が顧客拡大に威力を発揮している。日本初の事業を広めていくためには、机の上で申込みを待っているのではなく、足を運んだ積極的な営業活動、すなわち「売り込み」が、この事業を継続していく上で重要であると捉えている。

## 他団体へのアドバイス

前例のない事業であるからこそ、より丁寧な説明が職員には求められる。  
本誌事例が今後新たな自主財源確保を検討する自治体の参考になれば幸いである。

人口 344,163 人 (R2.1.1現在)

担当 上下水道局経営課



設置された韓流スターのマンホール広告



QRコードを搭載したマンホール広告